



# 『生きていることわざ』

船橋市議会議員

神田 廣栄(かんだひろえい) 議会報告

【事務所】船橋市前原西8-24-8 ☎490-3333 FAX 465-7117

Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.hiroei.jp>

## 秋の日は釣瓶(つるべ)落とし。他力本願(たりにきほんがん)

【秋の日は釣瓶落とし】◇秋の日は急に暮れるということ。

・井戸の中へ釣瓶を落とすように、秋の日は早く沈むことによる。

【他力本願】◇他人の力に頼って、事を成し遂げようとする事。

・「本願」は、仏・菩薩(ぼつ)が、すべての人々を救うために立てた願いのこと。

紅葉前線が南下し『秋の日は釣瓶落とし』の通り、日暮れが早くなるとともに、めっきり涼しくなってきました。議会が閉会中の10月には5つある常任委員会の視察が集中します。私が所属する建設委員会は、10月17日・18日に京都・彦根に視察に行ってきました。京都市では、財団法人京都市景観・まちづくりセンターを訪問して、市民・企業・行政のパートナーシップによるまちづくりの取り組み等を伺い、彦根市では土地区画整理事業と街路事業について勉強してきました。

議員の「視察」に関して、いろいろな意見があるようです。私は「視察」を、わざわざ1泊2日や2泊3日で遠くまで行く必要があるのかと、いつも思います。聞くところによると、一定の距離を越えないと宿泊できないとのこと。日帰りでも近隣の都県で参考にするべきことはいくらかもあるはず。このことを主張することも議会改革のひとつと考えています。

前文が長くなりましたが、9月議会の一般質問の概要を2回に渡りお知らせします。

### ① 北習志野駅西側道路の拡幅について

市の広報紙でも明らかになっていますが、新京成線北習志野駅の東側は、建て替える駅舎と新築される商業ビルからジュジュ北習志野商店街まで、ペDESTリアンデッキという一段高い歩道により接続されどどんどん便利になりますが、駅の西側は全く改善されないのです。

そこで私は、車が交差できない現在の駅西側の道路を広げるには、駅舎を建て替える今が最後のチャンスであり、『他力本願』ながら、新京成電鉄に働きかけて欲しいと、担当部の前向きな見解を伺いました。

ちなみに、建築基準法第42条2項によると、4m未満の



「ひこにゃん」です



これも他力本願？

狭い道路でも、反対側に川・がけ地・線路敷地があると、一方的にセットバックしなくてはなりません。線路敷地に関しては、境界線一杯に線路が走っていたら無理ですが、幸いにも、ここは余裕があるのです。線路際の数本の桜の木も伐採し、幅一杯に駅舎を建てるという計画ですから、可能性があったのです。



— 道路部長の答弁 —

議員ご指摘のように、道路幅員が狭く駅へのアクセスが悪いことから、鉄道事業者と積極的に協議し、鉄道用地の使用が可能となれば、その範囲で整備を検討していきます。

② 飯山満区画整理事業について

飯山満駅周辺は「日進月歩」ながら形が見えてきました。飯山満駅から北側の芝山中学校方面に延びる3・4・27号線の歩道と車道の整備が着々と進んでいます。

現在、仮のロータリーを1～3mほど拡幅工事をしていますが、バスを乗り入れるためだと思うが、その時期はいつなのか、また、歩道を見ると、コンビニや焼き鳥のお店が歩行者の支障となるように見受けられるがどうか、と尋ねました。

— 藤代市長の答弁 —

飯山満土地区画整理事業は、事業を開始して既に15年を過ぎ、またこの事業の核となる飯山満駅が開業して10年という長い年月が経過してしまいました。

この間、市も様々な努力を重ねてきましたが、土地区画整理事業がなかなか進まなかったこともあり、特に駅へのアクセス面で皆様に大変ご不便をおかけしておりました。

現場ではまだ工事が続いています。10月5日に道路が開通し、10月14日には船橋新京成バスが乗り入れる運行すると聞いております。



— 都市整備部長の答弁 —

それらのお店は、都市計画道路の歩道の一部にかかる状況ですが、移転場所等の関係から、道路の開通には間に合いませんが、歩行者の通行に支障のない形での整備を進めております。

③ 船橋市総合防災訓練を終えて

今年は「台風・大雨・猛暑」と地球温暖化と思われる災害が全国に大きな被害を与えました。いざ大地震等の災害が発生した場合に備えて、市が無償講座を開設する等して専門的な知識と能力を持つ「災害救援ボランティア」を育成するべきではないか、と提案しました。



— 市長公室長の答弁 —

昨年、市にボランティア登録をしているグループリーダーを対象に「ボランティアリーダー研修会」を開催しておりますが、ご提案の「災害救援ボランティア講座」の開設は、前向きに検討してまいります。

— 以下次号